

(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	天童市役所
実習期間	令和 元年 8月 26日 ~ 令和 元年 8月 30日
学生氏名	小林 幸一
実習プログラム	実習時間： AM 9:00 ~ PM 16:00 ○8月26日（月）[総務課] 午前 ・開講式 ・天童市議会（一般質問）傍聴 午後 オリエンテーション →天童市の概要と市役所の仕事 ○8月27日（火）[総務課] 午前 ・先輩職員との座談会 午後 ・市内視察（三つの足湯、舞鶴山、芳賀地区周辺など） ・議会だより原稿作成（議会傍聴をしての感想） ○8月28日（水）[学校教育課] 午前 ・健康センター前駐車場での交通誘導（1時間） 午後 ・就学時健康診断補助（知能検査）@健康センター ○8月29日（木）[学校教育課] 前日と同じ ○8月30日（金）[生涯学習課] 午前 ・地区レクリエーション大会の準備補助@中部公民館 午後 ・事務補助@西沼田遺跡 ・関係各課へ挨拶

<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>今回の実習で市役所が担う業務の多様性を実感することができた。座談会での先輩職員のお話や外での業務を通じてデスクワークとは違った側面を知り、それぞれの課がもつ意味を改めて考えさせられるきっかけとなった。特に、実習3、4日目に行った知能検診の補助が印象的だった。小学校入学前の多くの子どもたちと接しまとめ、その難しさを痛感したがそれ以上に職員の方は親御さんへの説明、事後処理などの業務があり庁舎外での様々な業務も支えていることを身をもって知ることができた。こうした多岐にわたる業務によって市を多面的に支えている点が、民間企業とは役割の違った行政の在る意義だと思った。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>職員のお話や実際の体験を通じて、市役所、市のことについて内側から理解を深めることができた。しかし同時に市政について知らなかった点も多く、個人的に認識の欠如が目立った。時事、街並みひとつにしても関心を高めていきたい。また、実習のなかで何度か目標に対して計画性を求めることが話に出てきた。普段の生活から自分が立てた目標に責任を持ち計画性のある達成に努めたい。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>イメージとしてありがちなのが延々とデスクワークをしていること。しかし実際はデスクワークのみではなく外での業務もあり、様々な課での業務によってまちづくりに貢献することができる。民間企業とは違った見方でまちの今後を担えることは市役所のもつ魅力である。また、職員となって一年目であっても、例えば成人式のような大きなイベントを任されることがある。責任ある業務だがその分先輩職員のサポート、引継ぎはしっかりしているようだった。まちに関わる業務で無事にできた時の達成感は大きな魅力といえる。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	